

学校評価アンケート結果

・実施時期	令和4年11月		
・スコア算出方法	(4とてもそう思う～1そう思わないの合計) / (人数×4) ×100%		
・評価の目安	90%以上・・・青色 (良好)	80～90%・・・白色 (ほぼ良し)	
	70～80%・・・黄色 (改善の余地あり)	70%未満・・・赤色 (要改善)	

【児童アンケート結果】対象11名

	評価内容	スコア
学校像	①熊小は、一人一人を大切にし、みんなが活躍できる学校である。	95.5
	②熊小は、安全で安心できる学校である。	90.9
重点目標	③人の考えを聞き、自分の考えをわかりやすく相手に伝えようとしている。 (「ひと」とかかわる力)	84.1
	④授業や行事で立てた目標に向けて、しっかりと自分の役割を果たそうとしている。 (「自分」を高める力)	84.1
	⑤見通しをもち、友達と力を合わせて解決しようとしている。 (「チャレンジ」する力)	86.4
	⑥夢や目標に向かって、あきらめないで取り組もうとしている。 (「ゆめ」につなぐ力)	81.8
	⑦「くんま」についてきょうみをもち、進んで勉強している。	86.4
	⑧「くんまおうえん社」でくんまのためにがんばって活動している。	90.9
学習	⑨「くんまっ子 学習の約束」を守っている。	81.8
	⑩自分の考えを分かりやすく図やことばで相手に伝えている。	86.4
	⑪学習したことを、生活や他の学習に生かしている。	79.5
学校の自慢生活ふるさと	⑫一輪車で新しい技にちょうせんし、団体演技では自分の役割を果たそうとがんばっている。	90.9
	⑬積極的に首を覚え、進んで百人一首に取り組んでいる。	77.3
	⑭全校合唱で、力を合わせて意欲的に取り組んでいる。	81.8
	⑮地域の人のお話を聞き、体験活動に進んで取り組んでいる。	72.7
	⑯幼稚園の友達に、やさしく声をかけたり遊んだりしている。	77.3
	⑰連合教育で、他の学校の友達となかよくし、進んで勉強したり遊んだりしている。	84.1

【職員アンケート】対象8名

1 熊小について

	評価内容	スコア
学校像	①学校は、一人一人の個性や気持ちを大切にしている。	100.0
	②学校は、安全で安心できる場所である。	96.9
学校経営方針	③子供理解を基盤とし、子供の気持ちに寄り添う温かな支援・指導に努めている。	93.8
	④子供が活躍する場を設け「認め・励まし・鍛え・伸ばす」指導に努めている。	87.5
	⑤子供の実態をつかみ、「分かる授業」「個別最適な学び」の実現に努めている。	90.6
	⑥円滑な情報共有と迅速・丁寧な対応を心掛けている。	93.8
	⑦積極的に情報発信し、地域・保護者の声を丁寧に受け止めている。	87.5
	⑧CSを生かした教育活動を推進している。	96.9
	⑨「前始末」「協働」によりチームとして学校運営を推進している。	96.9
	⑩支援員、SC、SSW等との情報共有・連携を図っている。	96.9
	⑪経営参画意識をもち、ベテランを見習い若手に学ぶ姿勢をもっている。	96.9

2 全校児童の姿（表れ）について

重点目標 (キャリア教育)	①人の考えを聞き、自分の考えをわかりやすく相手に伝えることができる。 (「ひと」とかかわる力)	65.6
	②夢に向けて、前向きに粘り強く努力することができる。(「自分」を高める力)	75.0
	③課題解決のために見通しをもち協力し合って解決することができる。 (「チャレンジ」する力)	84.4
	④夢や目標に向かって試行錯誤しながら取り組む。(「ゆめ」につなぐ力)	78.1
	⑤ふるさと「くんま」の人・物・ことに興味をもって学んでいる。	93.8
	⑥「ふるさと学習」で学んだことをもとに、地域のために活動しようとしている。	81.3
学習	⑦学校や家庭での学習習慣が身に付いている。	71.9
	⑧自分の考えをわかりやすく相手に伝えることができる。	68.8
	⑨学習したことを生活や他の学習に活用することができる。	71.9
学校の特色	⑩一輪車の演技で自分の目標に向かって努力し、全員で一つの演技を成功させるために自分の役割を果たそうとしている。	100.0
	⑪積極的に首を覚え、進んで百人一首に取り組んでいる。	81.3
	⑫全校合唱では、みんなと協力しながら意欲的に取り組んでいる。	90.6
	⑬地域の人・もの・ことを生かした体験活動に進んで取り組んでいる。	96.9
	⑭幼稚園児との交流を通し、よきモデルとなり自己肯定感を高めている。	100.0
⑮連合教育で、他校の児童とも楽しく活動し、『自分らしさ』を発揮している。	78.1	

【保護者+学校運営協議会委員アンケート】対象11名+5名

1 熊小について

	評価内容	スコア
学校像	①学校は、一人一人の個性や気持ちを大切にしている。	89.1
	②学校は、安全で安心できる場所である。	90.6
学校経営方針	③子供理解を基盤とし、子供の気持ちに寄り添う温かな支援・指導に努めている。	85.9
	④子供が活躍する場を設け「認め・励まし・鍛え・伸ばす」指導に努めている。	87.5
	⑤子供の実態をつかみ、「分かる授業」「個別最適な学び」の実現に努めている。	84.4
	⑥円滑な情報共有と迅速・丁寧な対応を心掛けている。	89.1
	⑦積極的に情報発信し、地域・保護者の声を丁寧に受け止めている。	85.9
	⑧CSを生かした教育活動を推進している。	82.8

2 全校児童の姿（表れ）について

重点目標 (キャリア教育)	①人の考えを聞き、自分の考えをわかりやすく相手に伝えることができる。 (「ひと」とかかわる力)	73.4
	②夢に向けて、前向きに粘り強く努力することができる。(「自分」を高める力)	83.3
	③課題解決のために見通しをもち協力し合って解決することができる。 (「チャレンジ」する力)	82.1
	④夢や目標に向かって試行錯誤しながら取り組む。(「ゆめ」につなぐ力)	83.3
	⑤ふるさと「くんま」の人・物・ことに関心をもって学んでいる。	85.9
	⑥「ふるさと学習」で学んだことをもとに、地域のために活動しようとしている。	79.7
学習	⑦学校や家庭での学習習慣が身に付いている。	80.0
	⑧自分の考えを分かりやすく相手に伝えることができる。	68.8
	⑨学習したことを生活や他の学習に活用することができる。	76.8
学校の特色	⑩一輪車の演技で自分の目標に向かって努力し、全員で一つの演技を成功させるために自分の役割を果たそうとしている。	98.4
	⑪積極的に首を覚え、進んで百人一首に取り組んでいる。	75.0
	⑫全校合唱では、みんなと協力しながら意欲的に取り組んでいる。	92.2
	⑬地域の人・もの・ことを生かした体験活動に進んで取り組んでいる。	86.7
	⑭幼稚園児との交流を通し、よきモデルとなり自己肯定感を高めている。	86.7
	⑮連合教育で、他校の児童とも楽しく活動し、『自分らしさ』を発揮している。	81.7

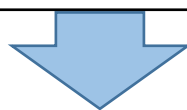
3 子供たちにどんな力を身に付けさせたいと思いますか。

- ・しっかりとした自分をつくること。自分としての核を持ち、ブレずに真っ直ぐ向きながら周りに気を配り、他人を思いやる心を持つこと。
- ・逃げずに根気よくやり抜く力。
- ・先を見通すことのできる力。
- ・連合で、もっと沢山の友達を作ってほしい。
- ・算数の計算問題を解く力。

学校評価の考察と改善策

1 考察

- 熊小が安全で安心できる学校であり、一人一人を大切にしているという基本的経営方針が認められている。
- 質の高い授業だけでなく、子供に寄り添い温かな指導を心掛けようとする職員の意識が高い。
- 重点目標（キャリア教育）で、児童において一定以上の高い評価が得られた。日々の授業や行事を通して、継続的に意識している成果が表れた。
- 一輪車の評価がとても高い。どの子もより高いレベルを目指して前向きに取り組んでいると同時に、団体演技では友達と助け合いながら頑張っていた。
- ▲CS導入1年目として、委員の方々に学校の様子を知っていただくことに重点をおいた。PTA総会や学校懇談会等の場を通して、CSとしての活動をさらに積極的に発信していきたい。
- ▲「ひと」とかかわる力において、評価の低い回答が目立った。今年度に引き続き、キャリア教育の中でも重点に置く必要がある。
- ▲学習したことを生活や他の活動に生かす力の評価がやや低い。学習のつながりや、学習と他の活動のつながりを意識した指導・声掛けが重要である。
- ▲学校の特色である「3つの自慢」の中で、百人一首の取り組みにおける評価が若干低い。今年度途中から校長室での朗詠を取り入れた。今後も、子供たちが意欲をもって取り組むような工夫を考えていきたい。



2 令和5年度に向けた改善策

- (1) 熊小創校150周年を迎える。今年度発足した実行委員会を中心にして、児童・保護者・地域で力を合わせ、心に残るような取組を考える。地域の方々とともにできる活動や、12月に行われる「若杉発表会」での発表内容や展示物を工夫し、熊小の歴史が感じられる会にする。
- (2) キャリア教育を引き続き重点目標に位置付け、年度初めのオリエンテーションを通じて、全校で共通理解しながら進めていく。特に課題に挙げた「『ひと』とかかわる力」を最重点課題とし、交流活動を充実させたり、校内研修では、考えを伝えるための表現力の育成を重点の一つとして取り組む。
- (3) 学校の自慢の一つである「百人一首」がさらに魅力ある活動になるために、単なる暗記や札取りだけではなく、百人一首そのもののよさや楽しさが感じられるような工夫を考える。発達段階に応じて、首の意味や作者の心情を理解することも大切にしたい。
- (4) 「くんまを応援する活動」として「くんまおうえん社」を継続させ、地域に貢献することや、地域のよさを見付け発信することを目標として活動する。
- (5) 危機管理体制をさらに強化できるよう、不測の事態に備えて、危機管理とリスク管理の意識を高める。特に、新型コロナウイルスや地震・大雨等の災害への対応について、全職員が共通理解し、万が一に備え、職員の役割・行動を明確にする。

2 学校運営協議会での話し合い結果と改善策

学校関係者評価と来年度に向けた改善策

<学校運営協議会委員からの意見>

- 学校が「子供たちが活躍できる場所」「表現できる場所」であるという、形が変わっていない所が良い。学校、保護者、子供たちで共通理解出来ている。
- ここでの学習状況が当たり前だと思っはいけない。小規模校であるがゆえに、中学でギャップを感じ挫折することもあると思う。熊小とは違う環境があることを、高学年に入ったら伝えてもらえると、本人、保護者として安心できる。
- くんまおうえん社は、学校だけでなく社会と繋がる意味ではすごく大切である。ぜひ継続してもらいたい。
- 百人一首は、先生方も子供たちと一緒に覚えてもらえると、子供たちも嬉しいと思う。
- 百人一首は30年続いているので、それなりに力になっていると思う。



<令和5年度に向けた改善策>

- (1) 今後も児童理解を基盤とし、子供たちが安心して、一人一人が活躍できる学校を目指すことを全職員で共通理解して教育活動を推進する。学校の経営方針を積極的に発信し、保護者や地域の協力を得る。
- (2) 少人数教育のよさを生かすと同時に、子供たちが多人数で活動する環境にも慣れることができるよう努める。連合教育や近隣校とのオンライン交流授業に積極的に取り組み、多くの子供たちと交流する機会を増やす。
- (3) 「くんまを応援する活動」として「くんまおうえん社」を継続させる。150周年の活動として地域の歴史について学ぶことで、地域をより身近に感じることができるようにする。
- (4) 学校の自慢の一つである「百人一首」がさらに魅力ある活動になることを目指す。百人一首のよさや楽しさを伝えるだけでなく、教員自ら積極的に首を覚えたり朗詠や札取りに参加したりして、子供たちとともに学ぶ姿勢で取り組む。